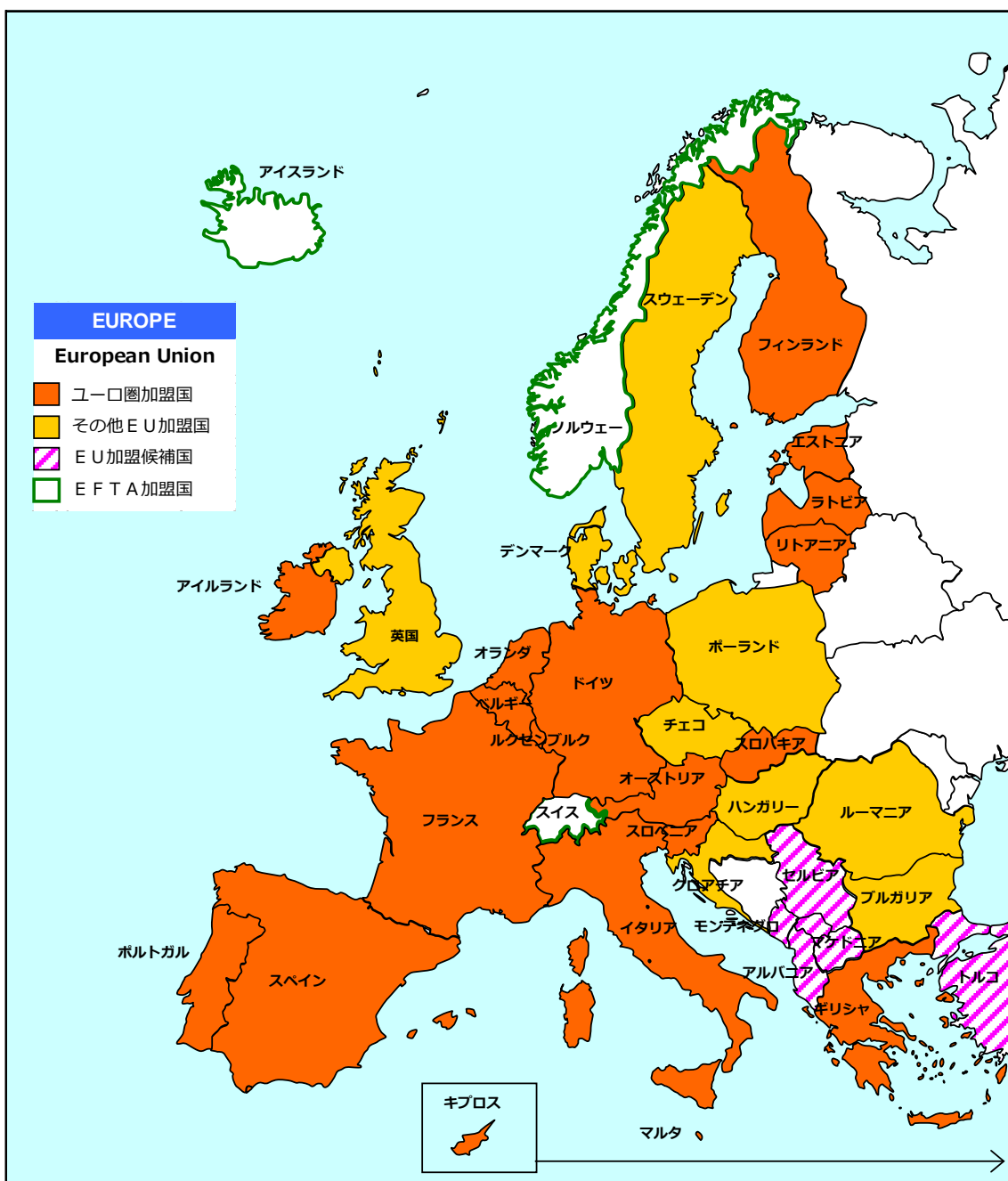


欧州経済アップデート (2018.9)

経済調査部
研究員 矢澤 朋子

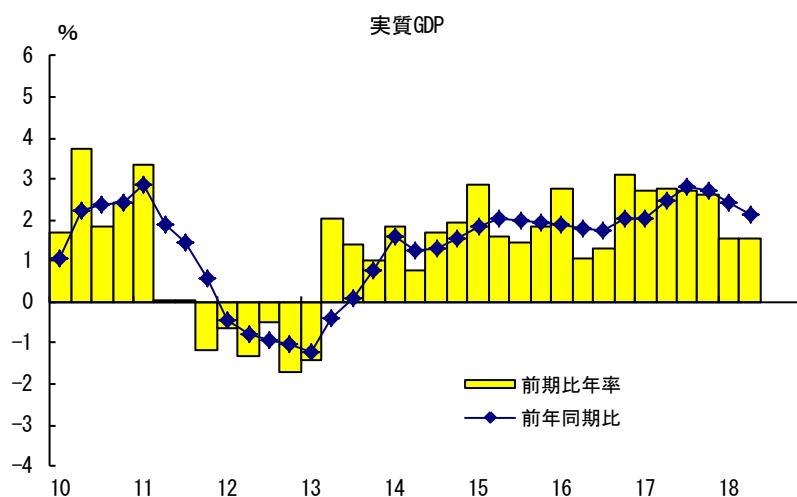


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 18年Q2の実質GDP成長率（確報値）は前期比+0.4%と速報から変化なし
- 総固定資本形成は前期比+1.2%とQ1の同+0.3%から大きく加速し、最大の寄与となった。輸出入はともに同プラスに転換するも、純輸出はマイナス寄与が続く
- 個人消費は前期比+0.2%と低調な伸びとなった



名目GDPに占める割合（%）

	2017
民間消費	54.2
政府消費	20.4
総固定資本形成	20.5
設備投資	9.7
住宅投資	5.2
その他建設投資	4.8
輸出	47.3
輸入	42.6

ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.7	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4
個人消費	0.3	0.5	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.2	0.5	0.2
政府消費	0.5	0.2	0.5	0.4	0.9	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.2	0.1	0.4
総固定資本形成	0.0	7.4	-4.4	2.7	0.6	1.1	1.0	1.3	-0.6	1.9	-0.1	1.4	0.3	1.2
設備投資	-0.7	15.5	-8.5	4.2	0.3	1.9	0.6	1.8	-2.4	3.1	-1.3	2.0	-0.3	1.6
住宅投資	-0.1	-0.2	0.9	0.9	1.8	1.0	1.6	1.1	1.2	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5
その他建設投資	1.6	-1.4	0.3	1.4	0.1	-0.8	1.2	0.4	1.8	0.2	1.2	0.5	0.5	1.1
輸出	3.2	0.7	0.2	0.9	0.5	1.2	0.3	1.5	1.9	1.1	1.3	2.1	-0.7	0.6
輸入	3.1	3.3	-1.4	2.3	0.6	1.0	0.7	1.8	0.6	1.1	0.6	1.3	-0.3	1.1

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

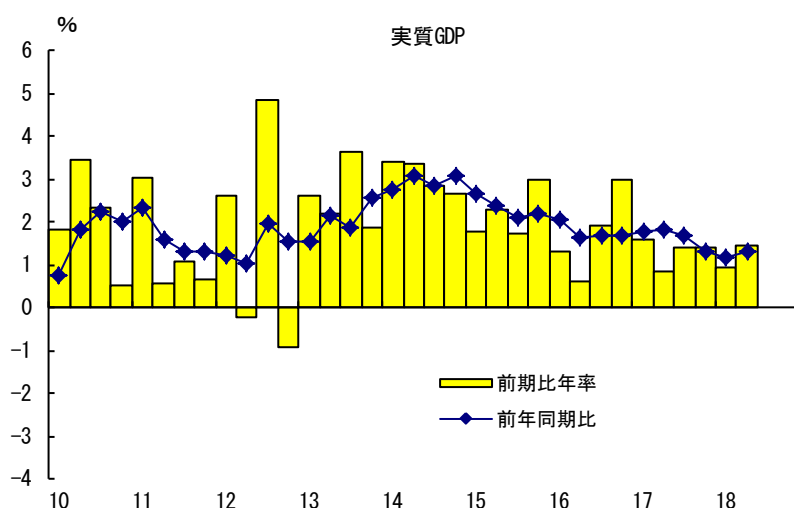
	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.7	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.38
個人消費	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
政府消費	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
総固定資本形成	0.0	1.5	-0.9	0.5	0.1	0.2	0.2	0.3	-0.1	0.4	-0.0	0.3	0.1	0.3
設備投資	-0.1	1.5	-1.0	0.4	0.0	0.2	0.1	0.2	-0.3	0.3	-0.1	0.2	-0.0	0.2
住宅投資	-0.0	-0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
その他建設投資	0.1	-0.1	0.0	0.1	0.0	-0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
在庫変動	0.2	-0.3	0.2	0.2	0.0	-0.3	0.1	0.2	-0.1	-0.1	0.1	-0.2	0.3	0.1
輸出	1.5	0.3	0.1	0.4	0.2	0.6	0.1	0.7	0.9	0.5	0.6	1.0	-0.4	0.3
輸入	-1.3	-1.4	0.6	-1.0	-0.3	-0.4	-0.3	-0.8	-0.3	-0.5	-0.3	-0.6	0.1	-0.5
純輸出	0.2	-1.1	0.7	-0.6	-0.0	0.1	-0.2	-0.1	0.6	0.0	0.4	0.4	-0.2	-0.2

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 18年Q2の実質GDP成長率は前期比で+0.4%となり、16-17年の平均成長率に並んだ。22四半期連続のプラス成長を記録
- 英国統計局が5月より公表を開始した月次GDPによると、5-7月のGDP成長率は2-4月比+0.6%となり、17年6-8月以来の好調な伸びとなった
- 内訳を見ると、サービス業及び建設業の加速が寄与した



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.4	0.6	0.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.4
個人消費	0.6	0.8	1.2	0.1	1.1	0.8	1.1	0.0	0.6	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3
政府消費	0.5	0.9	0.6	-0.2	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.5	0.5	-0.1	0.4	0.4	0.4
総固定資本形成	1.7	1.2	-2.1	1.8	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.1	1.6	0.4	0.8	-1.3	0.8
政府部門	1.6	-0.9	-5.5	-1.4	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-1.1	4.9	-1.1	1.1	-6.2	6.8
企業部門	3.3	-0.1	-2.5	2.3	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.7	0.6	0.2	-0.4	0.5
民間住宅投資	0.5	7.6	-1.2	3.0	3.2	1.1	1.9	1.6	4.9	0.1	1.5	4.7	1.5	1.1
輸出	1.2	0.8	-1.0	2.0	-0.9	0.9	-3.2	6.6	0.8	0.6	0.8	1.0	0.0	-3.6
輸入	2.2	-2.1	0.3	2.7	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.9	0.4	0.5	-0.2	-0.2	-0.8

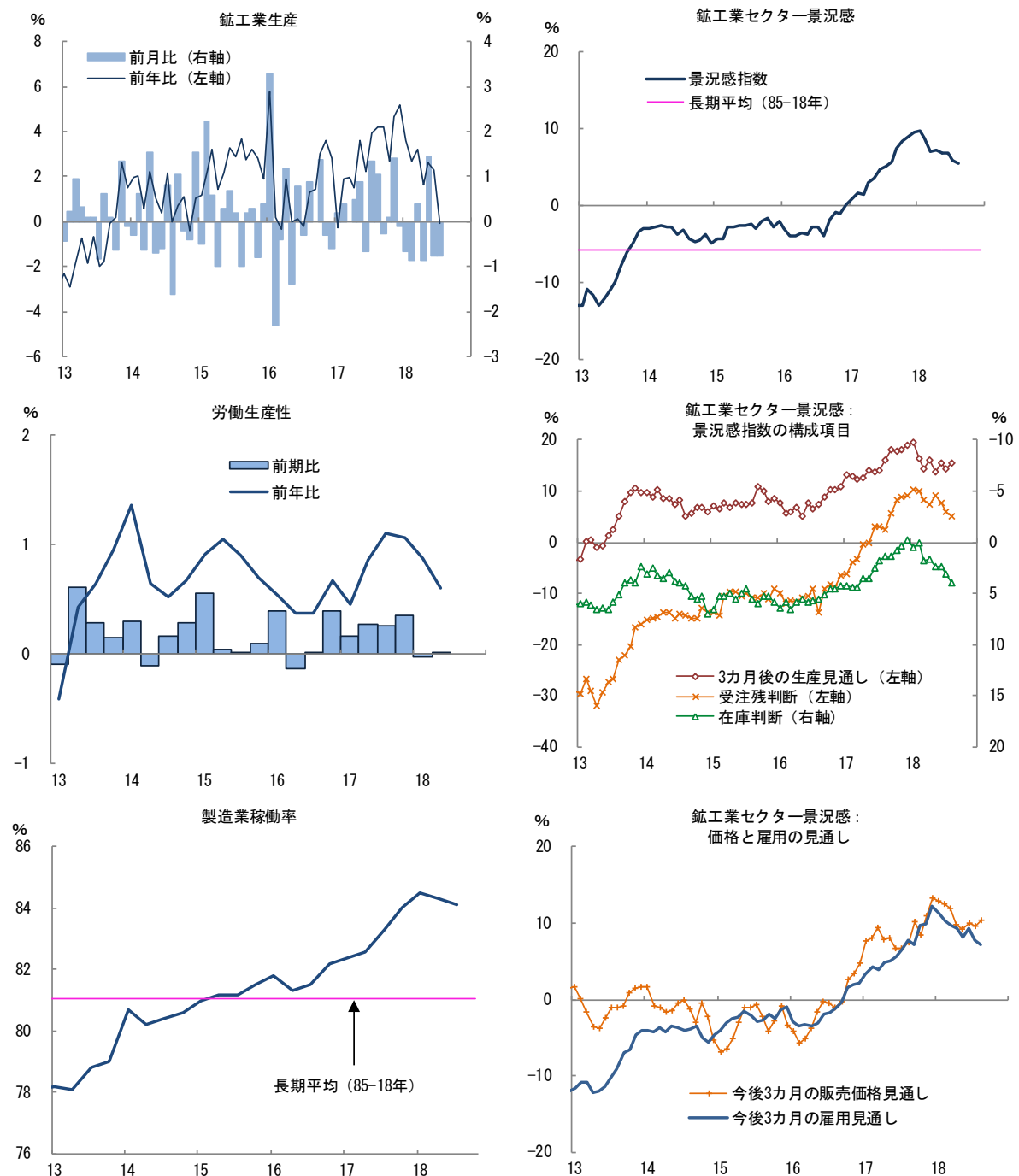
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.4	0.6	0.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.4
個人消費	0.4	0.5	0.8	0.0	0.7	0.5	0.7	0.0	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
政府消費	0.1	0.2	0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	-0.0	0.1	0.1	0.1
総固定資本形成	0.3	0.2	-0.4	0.3	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	-0.2	0.1
政府部門	0.0	-0.0	-0.2	-0.0	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	-0.2	0.2
企業部門	0.3	-0.0	-0.2	0.2	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.2	0.1	0.0	-0.0	0.0
民間住宅投資	0.0	0.2	-0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0
在庫変動	-0.2	-0.2	0.1	-0.5	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.4	-0.3	0.1	-0.4	0.2	0.7
輸出	0.3	0.2	-0.3	0.6	-0.3	0.3	-0.9	1.8	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	-1.1
輸入	-0.6	0.6	-0.1	-0.8	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.3	-0.1	-0.2	0.1	0.0	0.2
純輸出	-0.3	0.9	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	-0.8

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- Q2の労働生産性は前期比+0.0%とQ1とほぼ変わらず。前年比は+0.6%とQ1の同+0.9%から減速した
- 7月の鉱工業生産は前年比-0.1%と17年1月以来の前年割れ。化学・医薬品、電気機器、自動車等輸送機器の生産が振るわず、ウエイトの高い製造業の生産が大幅に減速した
- 8月の鉱工業セクター景況感指数は長期平均を上回る水準だが、悪化傾向。構成項目のうち、受注残判断、在庫判断の悪化が続く

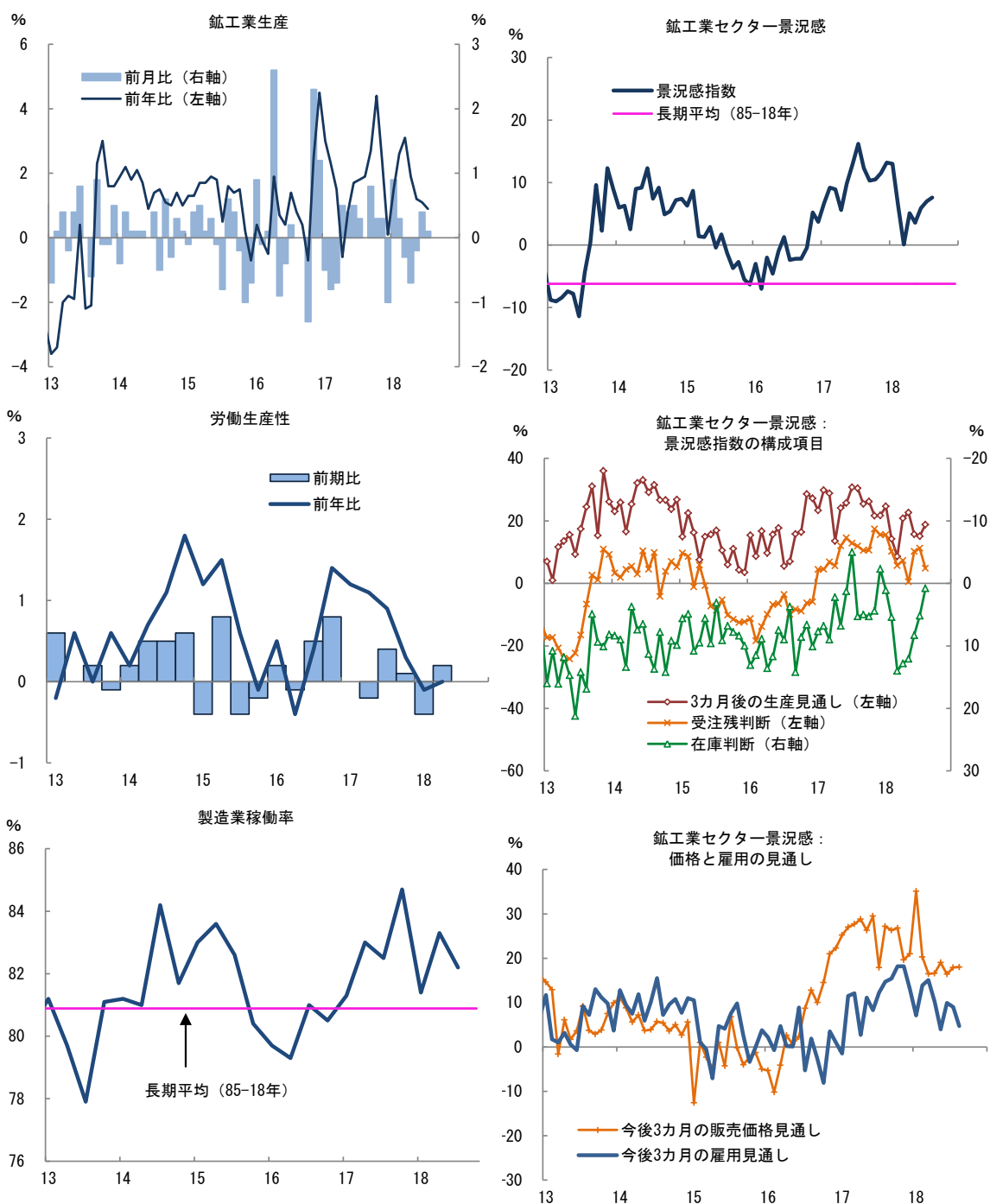


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比+0.1%。3カ月連続の同マイナスの後、2カ月連続のプラスとなった
- 内訳を見ると、鉱業・採石業は、生産ライン定期保守終了後の反動増で前月比プラスに転換。一方、製造業はわずかに同マイナスに転じた
- 8月の鉱工業セクター景況感は改善傾向が続く。構成項目のうち、在庫判断は5カ月連続の改善、生産見通しは改善に転じた

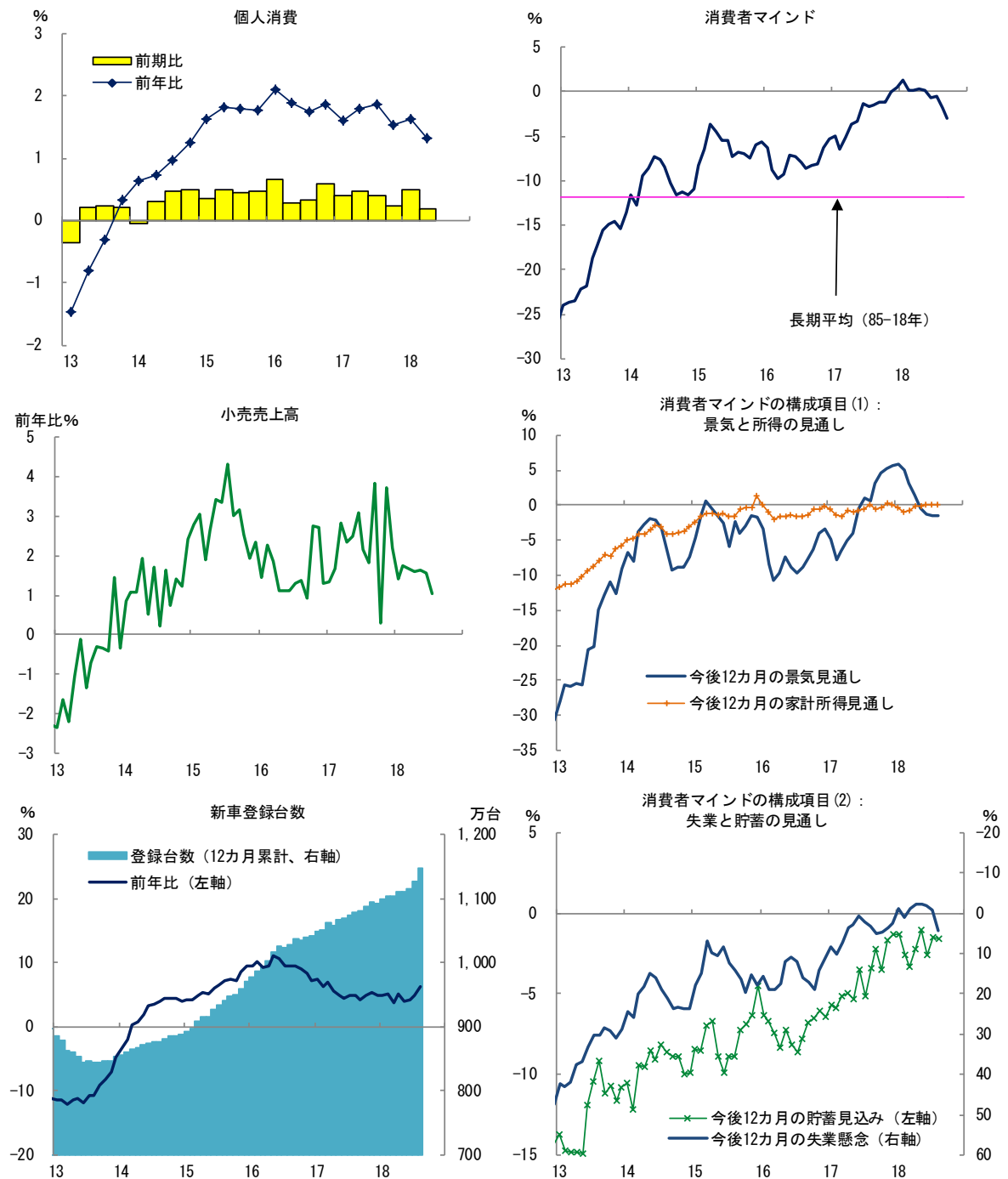


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- Q2の個人消費は前期比+0.2%に減速。前年比でも+1.3%と14年Q4以来の水準まで減速
- 7月の小売売上高は前年比+1.1%に減速。一方、新車登録台数は8月単月で同+30.9%と急加速。9月からの新車登録の型式認証の変更を前に、駆け込み需要が発生した
- 9月の消費者マインド（速報）は8月から悪化。悪化傾向が明確となった

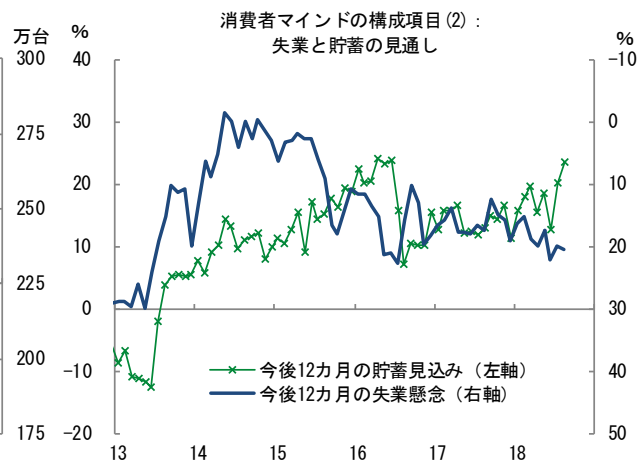
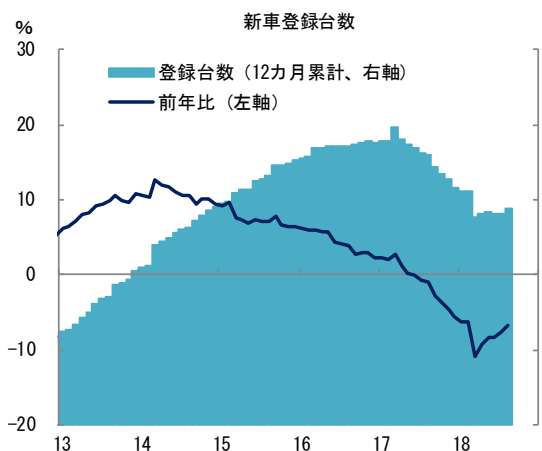
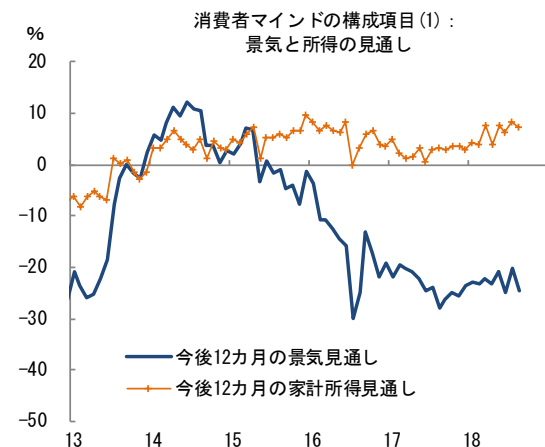
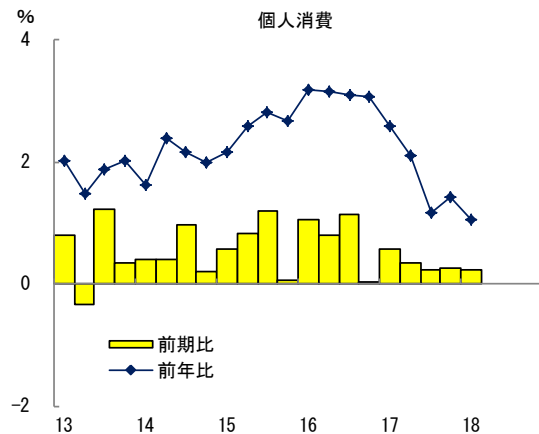


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 8月の小売売上高は前年比+3.3%。非食品や無店舗売上の貢献により高水準の伸びを維持
- 新車登録台数は8月単月で前年比+23.1%と大幅な加速を記録。ユーロ圏と同様、新車登録の型式変更前の駆け込み需要が主要因
- 8月の消費者マインドは前月比で悪化。貯蓄見込みを除くすべての構成項目が悪化した

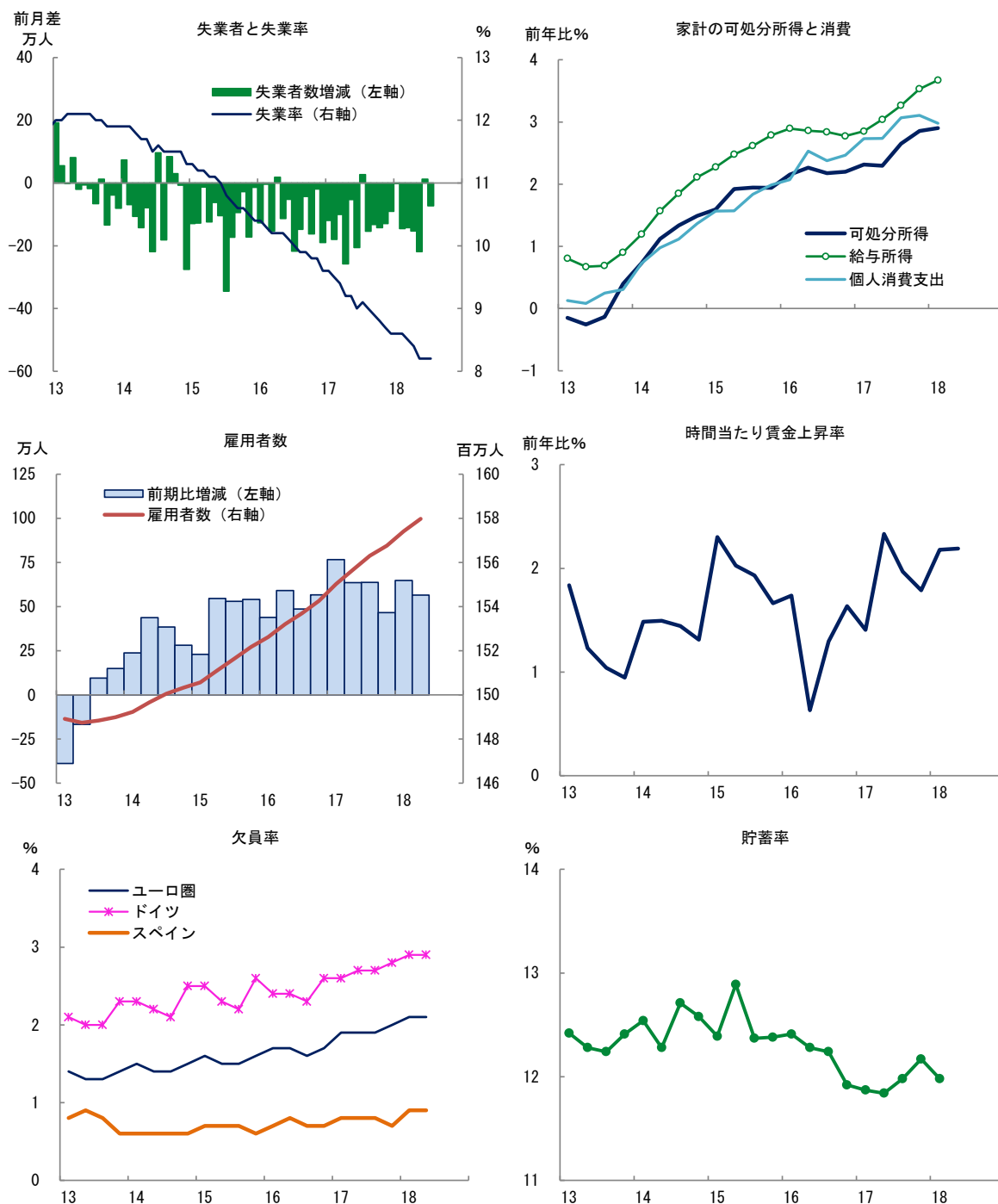


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- Q2の雇用者数は1.58億人と95年の統計開始以来最多を更新。専門・科学技術等及び貿易・旅行・外食が前期比での増加に大きく貢献するも、製造業では増加幅が大きく縮小
- Q2の時間当たり賃金上昇率は、前年比+2.2%とQ1と変わらず。業種別で見ると、製造業、建設業、宿泊・外食業などでの賃金の加速が目立つ
- 7月の失業率は6月と同じ8.2%で、08年12月に並ぶ低水準

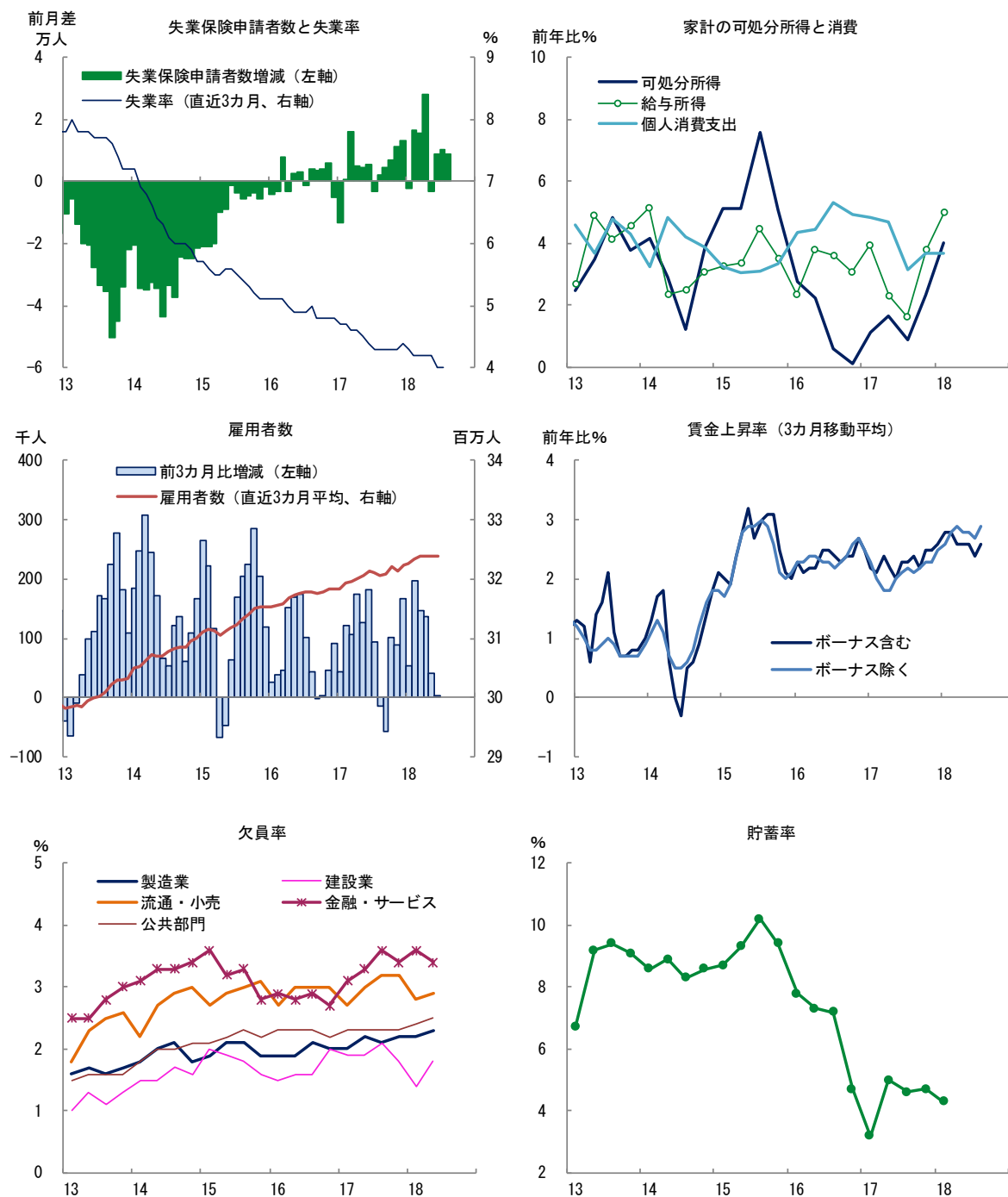


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 5-7月平均の失業率は4.0%と4-6月平均から変わらず。雇用者数も4-6月平均とほぼ同じ3,240万人で、71年2月の統計開始以来の高水準が続く
- 労働力人口は2カ月連続で縮小。労働市場から退出する非労働力人口が増加している
- 5-7月の賃金上昇率（ボーナス含む）は、サービス業の賃金上昇率が加速に転じ、前年比+2.6%と加速。ボーナスを除いたベースは同+2.9%に加速した

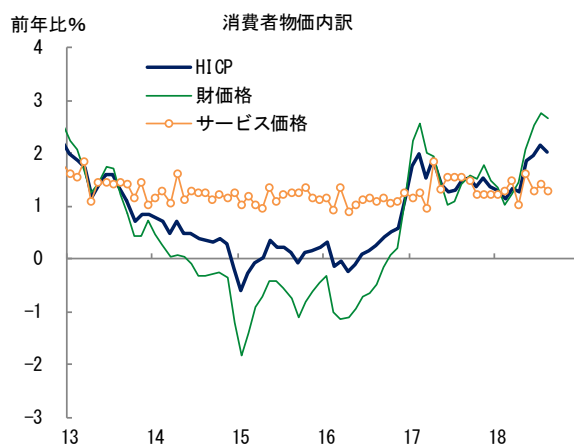
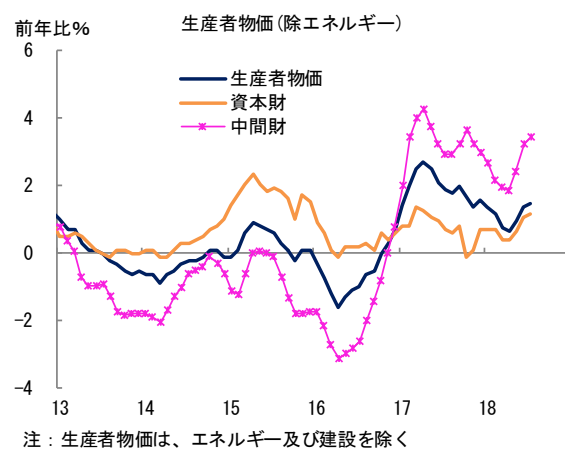
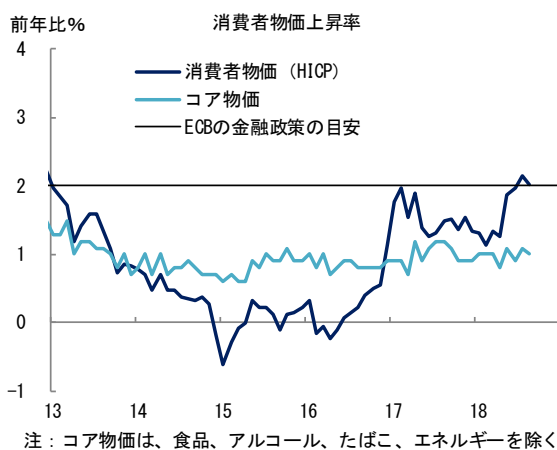


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

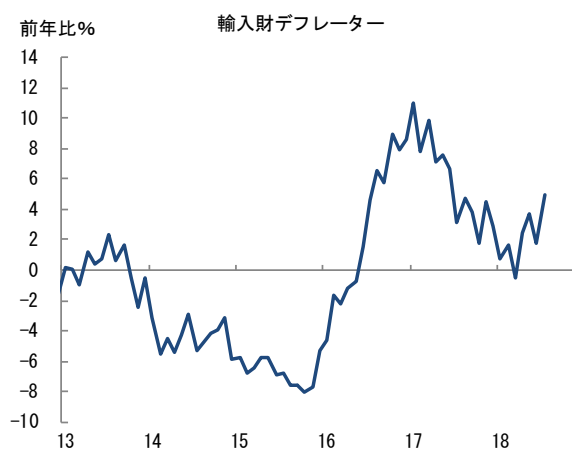
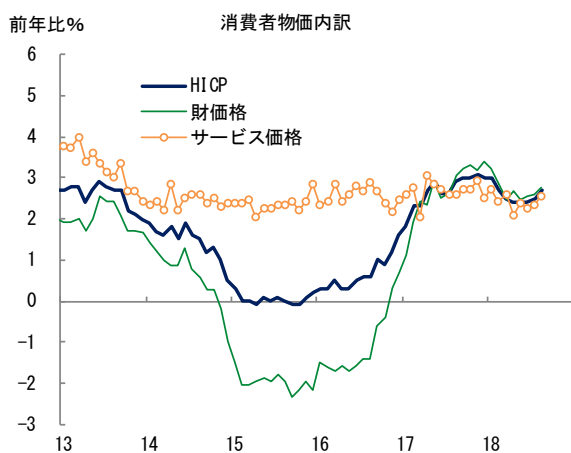
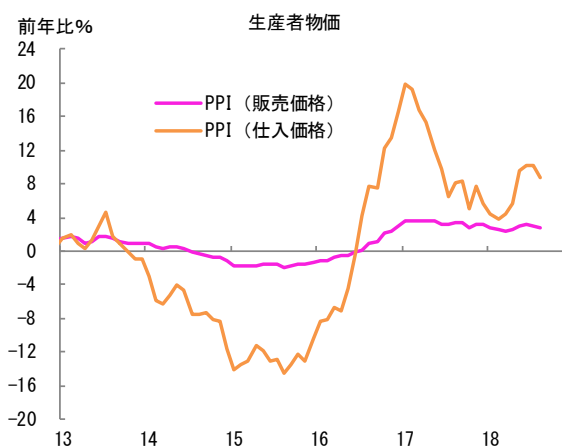
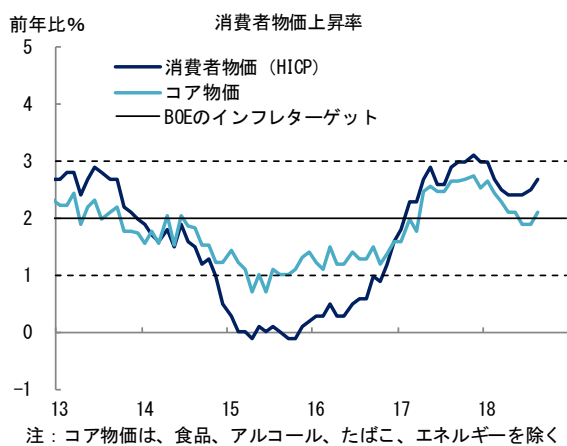
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は7月の前年比+2.1%から同+2.0%に減速。サービス及び工業製品価格が減速した。コア物価上昇率も同+1.0%に減速した
- 7月の生産者物価上昇率は前年比+1.5%と3カ月連続の加速。石油・石油精製品価格の高騰（同+29.9%）、鉱業・採石価格の加速（同+12.0%）が続く
- 6月の輸入物価は前年比+6.7%と5月の同+2.4%から大きく加速。工業製品価格は5カ月ぶりに上昇に転じ、鉱物燃料等の価格は一段と高騰した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

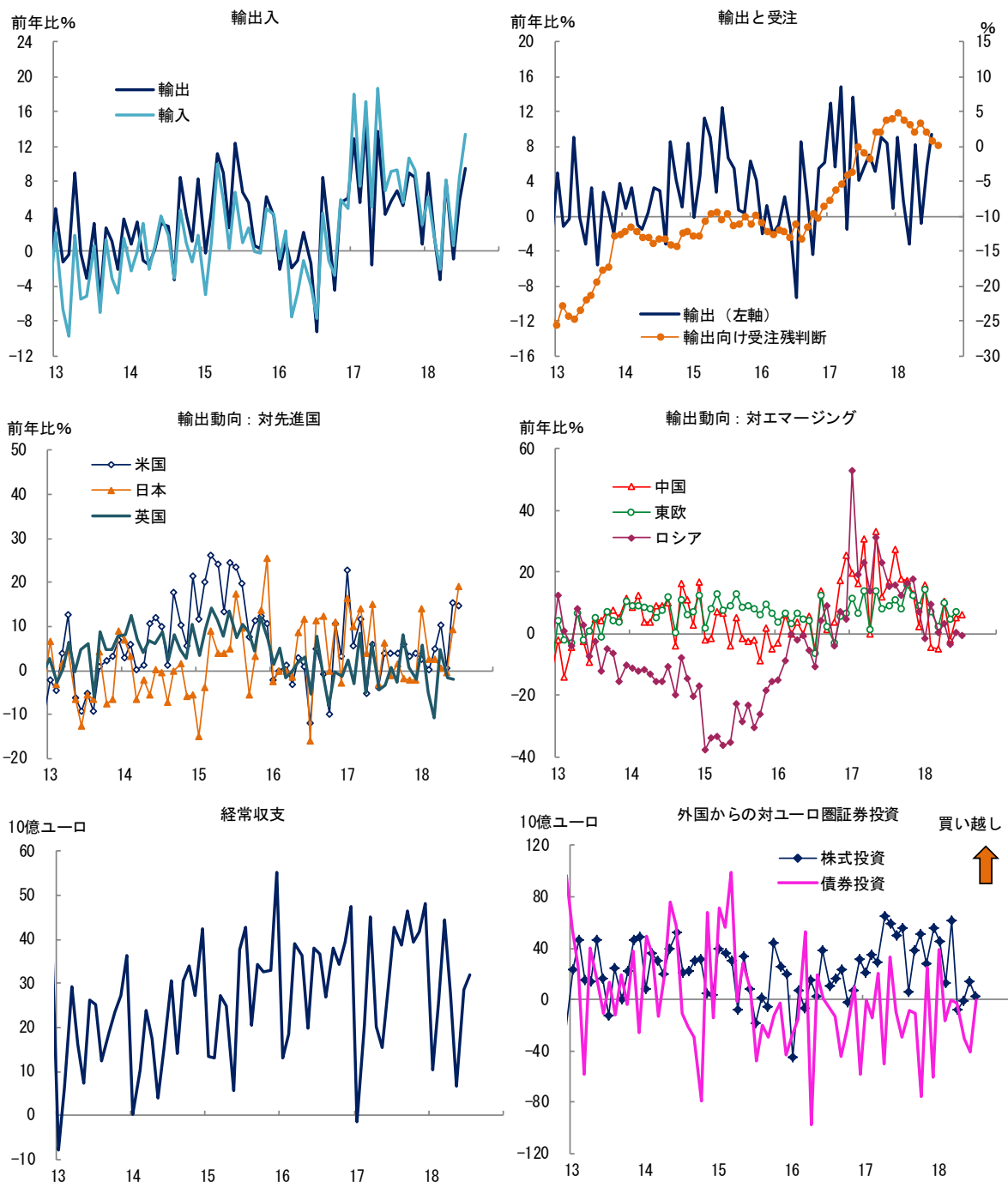
- 8月の消費者物価(HICP)上昇率は前年比+2.7%、コア物価上昇率は同+2.1%と共に加速。輸送及び娯楽価格の加速が続く
- 8月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+8.7%と6カ月ぶりの減速。原油等の価格高騰が一服した。販売価格も同+2.9%に減速した
- 7月の輸入財デフレーターは前年比+5.0%と17年6月以来の大幅な加速。燃料価格の高騰に加え、化学製品及び材料の価格が前年比プラスに転じた



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

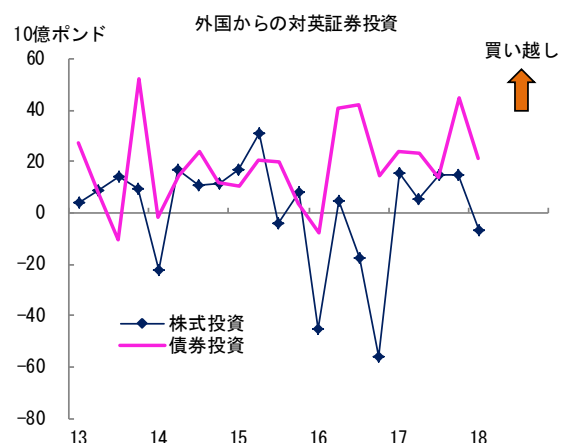
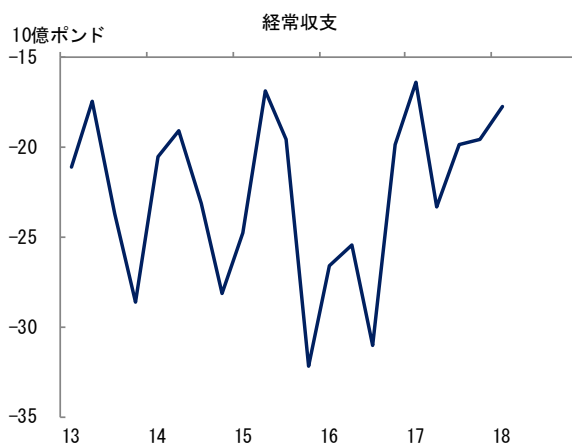
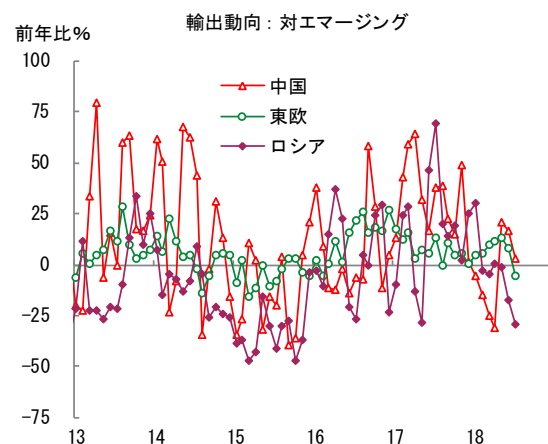
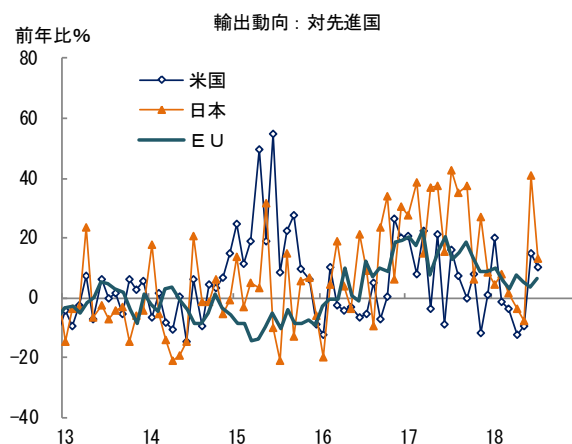
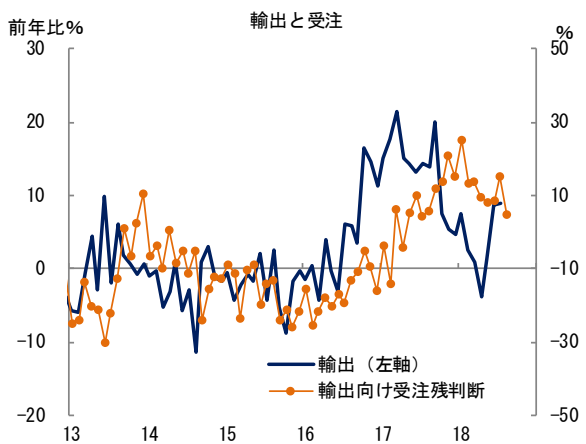
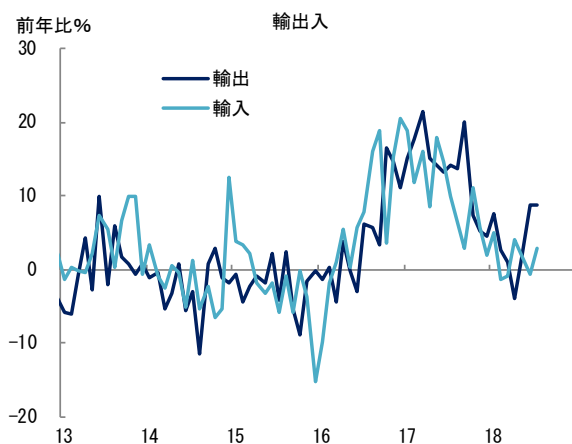
- 7月の輸出は前年比+9.5%、輸入は同+13.4%とそろって加速。6月と同様、輸出入ともに工業製品及び鉱物燃料等の加速が目立つ
- 輸出相手先別では、米国及び日本向けは好調な伸びとなる一方、中国向けは低調な伸びが続く。ロシア向けは小幅ながら前年割れに転じた
- 7月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、債券投資がわずかながら4か月ぶりの買い越しに転換。株式投資は買い越しを維持



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 7月の輸出は前年比+8.9%にやや加速。製品輸出は減速したが、10%のウエイトを占める燃料輸出が6月の同+28.6%から同+45.5%と急拡大した
- 輸出相手国別では、EU向けのみ加速し、それ以外は減速もしくは前年割れとなった。特に、エマージング向けの輸出は軟調が続く
- 7月の輸入は前年比+2.8%と前年割れを脱出。半製品輸入が反発したため、製品輸入が6カ月ぶりにプラスに転換。基礎材料輸入は同+16.7%に大きく加速した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成